

福祉教育プログラム

人を思いやる気持ちや一人ひとりを尊重し「共に生きる」力を醸成する一つの方法として、「福祉教育」があるのではないのでしょうか。

学年や地域の実情に応じて、グループワークや体験を通して「福祉」が身近に感じられる授業を展開し、子どもを中心とした学校・地域・家庭がつながる仕組みを作っていきます。

授業内容



「福祉ってなに？」

「福祉」という言葉は聞くけど、
どういう意味？
「福祉」の持つ意味や活動について学び、
人を認め、人を思いやる気持ちを身につけます。

「認知症ってどんな病気？」

現在、65歳以上の16%が認知症と推計されており、今後この割合は増加していくと予測されています。
正しい知識と理解を持ち、認知症高齢者等にやさしい人づくりをめざします。



「ボランティア」

年々、ボランティアをしてみたい子どもは増えてきています。子どもたちにはできないボランティアもあります。自分たちにできるボランティアは何かを考え、誰かのためとなるボランティアをはじめの第一歩となります。

「被災したら・・・」

毎年のように起こる大規模災害。全国各地の被災地での支援経験をもとに、被災地の現状や高齢者や障害者の困りごとについての話をします。
防災の取り組みや支援者としてできることについて学びます。



「高齢者疑似体験」

アイマスクや手足のサポーター、重りなどを装着して、高齢者になった時の肉体的機能低下や心理的变化を疑似的に体験し、高齢者にやさしい心や介助の方法について学びます。

- ◇ 時間数は、授業1コマから通年授業までご要望に応じて開催いたします
- ◇ 掲載のメニュー以外のご希望がありましたらご相談ください